

科目名	発達障害教育指導法特論	担当教員	岩澤一美
科目属性	専門科目 C	単位数	2 単位（面接 0.5 単位）
<p><b>【授業の目的・ねらい】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 特別支援教育及びインクルーシブ教育の概念について理解する。</li> <li>2. 心理教育アセスメントを通して、児童生徒の特性を把握し、それぞれに合わせた支援方法を立案することができる。</li> <li>3. 児童生徒の実情を把握し、課題に即したソーシャルスキルトレーニングを行うことができる。</li> </ol>			
<p><b>【授業計画】</b></p> <p>発達障害の児童生徒に対する指導方法について、WISC-IVによる特性理解やそれに基づいた指導の在り方について具体的事例を挙げながら論及する。インクルーシブ教育の構築していくための取り組みは始まったばかりだが、基本的な方向性は障害のある子どもも障害のない子どもも、できるだけ同じ場所で共に学ぶということにある。重要な概念である基礎的環境整備と合理的配慮を理解するとともに、通常学級にいる発達特性上さまざまな困難を抱える児童生徒を支援する方法について考察する。</p> <p>第1回 特別支援教育の理念と現状</p> <p>第2回 インクルーシブ教育システムの構築と基礎的環境整備及び合理的配慮</p> <p>第3回 発達障害の特性（心理、生理、病理）と二次的障害</p> <p>第4回 WISC-IVの概要</p> <p>第5回 WISC-IVの指標パターンによるプロフィール分析</p> <p>第6回 WISC-IVの指標パターンによるプロフィール別支援方法</p> <p>第7回 心理教育アセスメントに基づいた個別指導計画の立案方法</p> <p>第8回 通常学級における発達障害の子どもへの学習面での合理的配慮について</p> <p>第9回 通常学級における発達障害の子どもへの生活面での合理的配慮について</p> <p>第10回 具体的な事例分析と支援方法</p> <p>第11回 ソーシャルスキルトレーニングの基礎理論</p> <p>第12回 ソーシャルスキルトレーニングの実践方法</p> <p>第13回 ソーシャルスキルトレーニングの指導案の作成</p> <p>第14回 保護者と教師・学校との関係調整</p> <p>第15回 クラス担任・学校へのコンサルテーション</p> <p>科目修得試験</p>			
<p><b>【評価方法】</b></p> <p>評価については、スクーリング評価（25%）、レポート評価（25%）、科目修得試験（50%）を総合しての評価となる。</p>			
<p><b>【教科書】</b></p> <p>上野一彦・松田 修・小林 玄・木下智子著『日本版 WISC-IVによる発達障害のアセスメント』（日本文化科学社、2015）</p> <p>独立行政法人国立特別支援教育総合研究所『LD・ADHD・高機能自閉症の子どもの指導ガイド』（東洋館出版社、2013）</p>			

【参考図書】

山口 薫 編著『新訂 Q&A と事例で読む 親と教師のための LD 相談室』（中法法規出版、2011）

岩澤一美 監修『クラスが変わる！子どものソーシャルスキル指導法』（ナツメ社、2014）

NPO 星槎教育研究所 編著『クラスで育てるソーシャルスキル』（日本標準、2009）

『LD, ADHD&ASD』編集部・笹森洋樹 編『平成 29 年版学習指導要領のポイント通常学級の特別支援教育』（明治図書、2017）

阿部利彦 岩澤一美 著『これだけは知っておきたい 発達が気になる児童生徒の理解と指導・支援』（金子書房、2019）

文部科学省（2017）『特別支援学校幼稚部教育要領 特別支援学校小学部・中学部学習指導要領』